



## 蘇古鶴神社秋祭り 五穀豊穡を感謝

11月23日、鉄砲小路区(秋山茂治区長)で、蘇古鶴神社秋祭りが行われました。

会場の蘇古鶴神社では、五穀豊穡を感謝する式典が行われました。その後演芸会があり、各団体から歌や踊りが披露され、楽しい発表に会場からは盛大な拍手が送られました。また、甘酒や焼きいも、わたがしなどの屋台も出され、遠方からの来町者もこの地域の祭りに立ち寄り、たくさんの人でにぎわいました。



▲踊りと子ども太鼓のコラボレーション

## 新山区秋祭り&文化祭 もちつき、竹細工で世代間交流も

11月21日、新山区(岩崎元視区長)で、秋祭り&文化祭が行われました。

会場の白鈴公民館には、子どもから高齢者までたくさんの地域住民が集まり、もちつきや竹細工などを行いました。もちつきでは、子どもたちもちをついたり丸めたりして、昔ながらのもち作り体験を楽しんでいました。また、公民館内の文化祭ではたくさんの作品が展示されました。子どもたちにとって貴重な体験ができた1日でした。



▲子どもたちも、もちの丸め作業を体験

## 菊陽中2年生と青少年健全育成町民会議が 合同美化作業&交流会

11月14日、今回初めてとなる菊陽中学校2年生と青少年健全育成町民会議の合同美化作業と交流会が開催されました。参加者は約1時間かけて中学校の校庭や体育館、また隣接する町民体育館や周辺道路などで作業を行いました。作業後は、菊陽中体育館で交流会を開き、参加した生徒と会員たちが昔の菊陽町のことなどを語り合いました。

作業中は真剣に、交流会では楽しんでいる姿が印象的でした。



▲生徒と会員たちが町民体育館周辺を美化作業

## 見事きれいになりました 町内3カ所で落書き消し

11月14日、菊陽町青少年健全育成町民会議環境部会(満尾勝広部会長)会員と熊本県建築労働組合菊鹿支部菊陽分会(村上秀幸会長)会員が町内3カ所で落書きを消すなどの奉仕作業に取り組みました。

奉仕活動には12人が参加し、柳南橋では、スプレーで文字や模様を落書きされた橋脚などにペンキを塗り重ねて化粧直しを行いました。

作業後には橋脚が見違えるよう美しくなりました。



▲ペンキを塗り重ねて落書きを消す

## さんふれあ秋の感謝祭 多くの来場者でにぎわう

11月21日、菊陽町総合交流ターミナルさんふれあで、さんふれあ秋の感謝祭が行われました。

会場では、からいも・にんじん・みかんの詰め放題や卵のつかみ取り、また直売所で1,000円以上の買い物をした人には豪華賞品の当たる抽選会などが行われました。どれも長い列ができるほどの大盛況を見せました。

そのほかにも、手作り小物の販売コーナーなどもあり、大勢の来場者でにぎわいました。



▲すくったピンポン球の数だけ卵がもらえる

## 南方防災訓練 災害に備え事前に訓練を

11月21日、南方区(紫藤英二区長)で、南方防災訓練が行われました。

訓練では、地震災害が起きた際の避難場所への集合や、南消防署からの応援で消火訓練、AED・人工蘇生法などの訓練も行われました。住民たちは、消防隊員の実演や説明を真剣に聞いて体験し、積極的に訓練に参加していました。また、消防団の操法訓練や婦人会の炊き出しなどもあり、地域住民が一体となって取り組んだ訓練になりました。



▲AED・人工蘇生法の説明を聞きいる住民たち

## 小林さんが全国体育指導委員 功労者表彰を受賞

11月25日、体育指導委員として地域スポーツ活動の普及振興に尽くした人に贈られる「体育指導委員功労者表彰」<sup>こぼやしげさとし</sup>を小林敏利さん(青葉台)が受賞されました。小林さんは、昭和57年から町体育指導委員として町のスポーツ普及などに貢献されています。

これまで長い間活躍された秘訣を「家族と町民の皆さんの協力があったからこそ」と話され、今後の活動について「これからも町スポーツ普及活動を頑張っていきたい」と意欲をみせられました。



▲体育指導委員功労者表彰を受賞した小林さん

## 鉄砲小路ぶら〜り散策 菊陽町スタンプラリー

11月23日、菊陽町スタンプラリーを開催しました。このイベントは、JR九州秋のウォーキングと合同で行われ、JR三里木駅を発着とする約8kmのコースを散策します。町内外から約400人が参加し、沿道の景色や地域住民との交流を楽しみながら歩きました。途中、4カ所のポイントが設けられ、参加者は菊陽町に関するクイズに答えていきました。最後のポイントである「さんふれあ」では抽選会も行われ、菊陽産の野菜や味噌などのプレゼントがあり、参加者は「いいお土産になった」と喜んでいました。



▲菊陽町を散策しながらゴールを目指す参加者



## 本物の舞台芸術を体験

文化庁、県・町教育委員会主催

「子どものための優れた芸術文化体験事業」

### 歌舞伎役者中村吉右衛門さん西小学校で授業

11月25日、歌舞伎役者の中村吉右衛門さんが西小学校を訪問され、児童たちに日本の伝統芸能・歌舞伎の世界を紹介しました。

第1部の「歌舞伎の世界で遊ぼう」では、生き物や音など、すべて人の手で作り出す歌舞伎の表現手法の実演・体験があり、それらを吉右衛門さんが児童に問いかけながら分かりやすく解説されました。また、児童たちも手作りの小道具を使った立ち回りを一門の人たちと一緒に発表し、これまでの練習の成果を披露しました。

第2部の「実際に舞台を見てみよう」では、まず長唄とお囃子による演奏、続いて役者さんによる勇ましい立役の「雨の五郎」と優美であでやかな女形の「鶯娘」が上演され、児童たちは感動や驚きと共に盛んな拍手を送っていました。また、演奏の幕間には、吉右衛門さん自らが学校の先生に「隈取り」の化粧を施す姿の見学や歌舞伎で使われる楽器の演奏体験があり、児童たちが歌舞伎の世界に触れる機会となりました。

最後は、花道を退場する一門の皆さんを大きな拍手で送り、吉右衛門さんには児童代表から「心に響く音や迫力ある動き、間近で見る歌舞伎は勇ましい姿、美しい姿でした。これからも元気でみんなに歌舞伎の素晴らしさを伝えていってください」とお礼の言葉が伝えられ、吉右衛門さんは「ぜひ歌舞伎を見に来てほしい。待っています」と話されていました。



### 人形劇団ひとみ座南小で公演

11月29日、人形劇団ひとみ座が、南小学校で児童劇を公演しました。ひとみ座は、神奈川県川崎市を拠点として日本全域で活動を行っており、近年はアメリカや中国など海外でも公演しています。

今回は「大どろぼうホツェンプロツ」が上演され、個性的な登場人物、盛りだくさんの物語に児童や白菊園の園児たちは大いに楽しみ、笑い、そしてハラハラドキドキしていました。また、4年生から6年生までの児童は、手作りの人形で共演も果たし、体験する人形劇に感激している様子でした。

児童からは「大泥棒が大笑いするところがおもしろかった」「楽しい劇だった。これからもみんなを楽しませてほしい」という声が聞かれました。



▲ワークショップをする児童たち

### 入道水に熊本県出身の力士 佐田の海関が来町

11月30日、入道水区(鹿子木進区長)の入道水管原神社に、熊本県出身の佐田の海関が訪問されました。神社には地域住民が集合し、佐田の海関と握手や記念撮影をするなど交流を深めました。

佐田の海関は、区が昨年建設した土俵や上屋を見学し、「上屋は立派ですね。土俵の土も柔らかすぎず硬すぎず良かったです。子どもたちには楽しんで相撲をとってもらい、相撲を好きになってもらえればうれしいですね」と話されました。



▲佐田の海関と一緒に記念撮影

### 手づくりの本ができました 荒井良二さんによるワークショップ

11月28日、図書館ホールで世界的絵本作家・荒井良二さんを講師にお招きし、児童対象のワークショップが開催されました。

今回のテーマは、「いないもので“本”をつくらう」。荒井さんの楽しいトークを交えながら、子どもたちは、本の帯や使い古しの切手・包装紙、ペットボトルのふたなどを使って、世界にひとつしかない本づくりに夢中になっていました。



▲荒井良二さんと一緒に楽しく本づくり

## TOPICS まちのわだい

### 中学校で「認知症サポーター養成講座」 新たに395人のサポーターが誕生

12月10日に菊陽中学校、12月14日に武蔵ヶ丘中学校で、1年生を対象にした「認知症サポーター養成講座」が行われました。

今回は、認知症の基礎知識や認知症の人たちへの対応方法を学んだ後、学校の先生たちによる劇が行われ、「認知症の家族に対する孫の正しい対応方法はどれか」をクイズ形式で行いました。

最後に、「自分たちは地域で何ができるか」を考え、計395人が新たなサポーターになりました。



▲認知症のことをみんなで考え話し合う

### “おはなし”の楽しさ伝えよう 第11回おはなしフェスティバル

11月27日、図書館ホールで第11回おはなしフェスティバルが開催されました。

この催しは、本のすばらしさやおはなしの楽しさを伝えようと実施されているものです。菊陽町小中学校読書感想画コンクール表彰式や小学生による童話発表、おはなしの森さんさんによる「はらぺこパン」、人形劇ぶっくるによる「昔話：なら梨とり」などが上演され、親子で楽しめるほのぼのとした催しとなりました。



▲なら梨取れるかな